

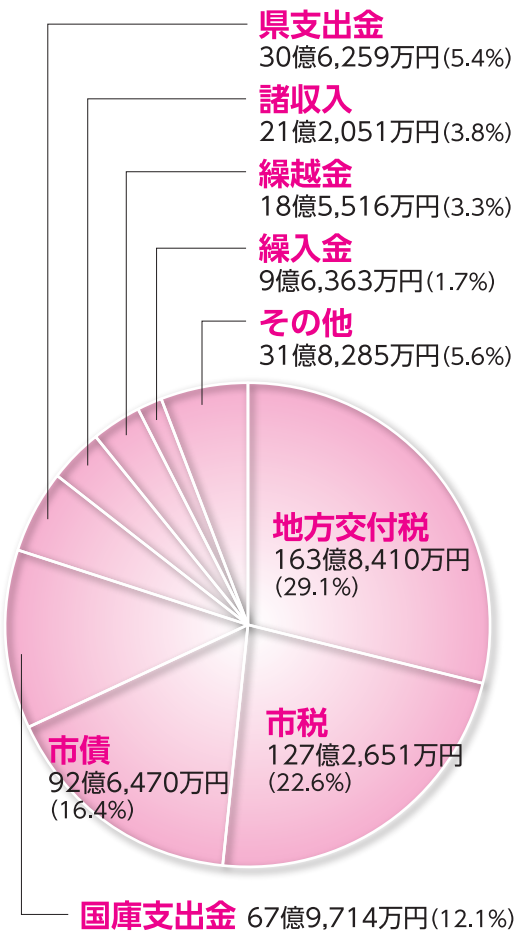
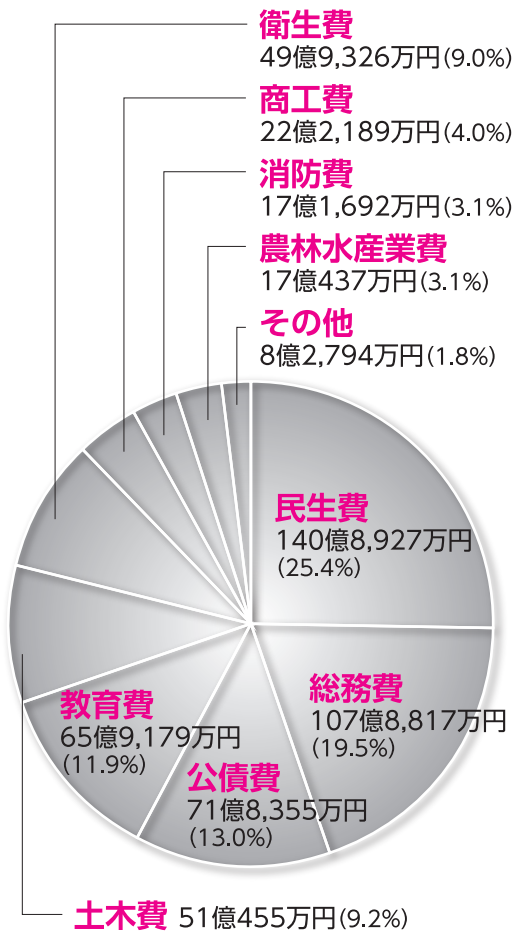
# 歳出

平成25年度 普通会計決算

# 歳入

552億2,171万円

563億5,719万円



- 【民生費】 福祉、保育所などの経費
- 【総務費】 財産管理、電算業務、税の賦課・徴収などの経費
- 【公債費】 市債の元金、利子を返済するための経費
- 【教育費】 教育委員会、小・中学校、社会教育などの経費
- 【土木費】 道路、公営住宅、公園などの公共施設の建設、整備の経費
- 【衛生費】 健康診断などの保健関係やごみ収集などの環境保全に要する経費

- 【地方交付税】 国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税のそれぞれ一定割合の額で交付されるお金
- 【市債】 返済金が一般会計年度を超える市の借金
- 【国庫・県支出金】 国や県から使途が特定されて交付されるお金
- 【繰入金】 基金を取り崩したお金

## ◎決算収支の状況

	歳入総額(A)	歳出総額(B)	形式収支(C)=(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源(D)	実質収支(E)=(C)-(D)
平成25年度	563億5,719万円	552億2,171万円	11億3,548万円	5,681万円	10億7,867万円
平成24年度	508億 955万円	489億5,439万円	18億5,516万円	2億3,380万円	16億2,136万円
増減	55億4,764万円	62億6,732万円	△7億1,968万円	△1億7,699万円	△5億4,269万円

11億4千万円の黒字決算(形式収支)

普通会計(一般会計)に診療所事業特別会計、駐車場事業特別会計を加えたものの平成25年度決算は、歳入総額563億5千719万円、歳出総額552億2千171万円で、差し引き11億3千548万円を平成26年度に繰り越しました。

平成25年度の市政運営の柱である「大いなる飛躍に向けた社会基盤整備」「賑わいと活力、雇用を生み出す産業の振興」「市民の元気があふれるまちづくり」「安心が実感できる生活基盤整備」「持続可能な地域基盤の強化」に係る施策に取り組んだ結果、決算規模は前年度に対し増となり、過去最大の決算となりました。一方で、継続して行財政改革に取り組んだことなどにより、翌年度への繰越事業に必要な繰越財源5千681万円を差し引いた実質収支では、10億7千867万円の黒字となりました。

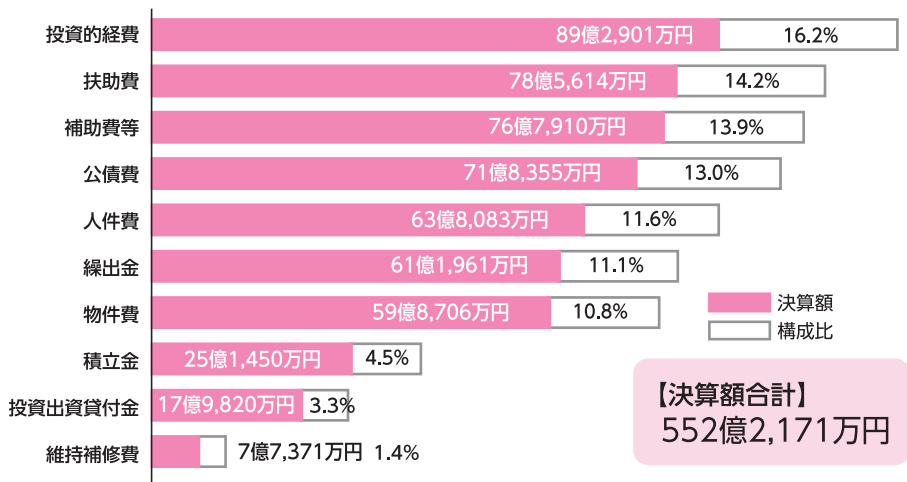
# 市の財政状況をお知らせします

平成25年度決算と平成26年度予算執行状況

●お問い合わせ先

市財政課財政係 ☎26-5780  
市立八幡病院事務局 ☎64-3311  
市水道局水道部管理課 ☎22-1812

## ◎歳出の性質別決算状況 (普通会計)



- 【投資的経費】 工事や大規模修繕などの投資経費  
 【扶助費】 社会保障制度の一環として児童・高齢者の方などを支援する経費  
 【補助費等】 各種団体への補助金や負担金などの経費 【物件費】 物品購入や業務委託、施設修繕などの経費  
 【公債費】 市債の償還金 【積立金】 各基金への積立  
 【人件費】 職員給与、特別職報酬、共済費などの経費 【投資出資貸付金】 他団体などへの投資・出資・貸付金  
 【繰出金】 特別会計などへの運営負担金 【維持補修費】 公共施設などの維持補修費

## ◎市有財産の状況

(平成26年3月31日現在)

土地	805万7,174平方メートル
建物	51万3,893平方メートル
山林	668万1,689平方メートル
基金	160億2,129万円
有価証券	2億2,563万円
出資金・出捐金	8億6,786万円
預託金・貸付金	55億4,257万円
船舶 (とびしま、し尿運搬船、 飛鳥海中体験丸)	3隻
自動車	365台

## ◎平成25年度公金の運用実績

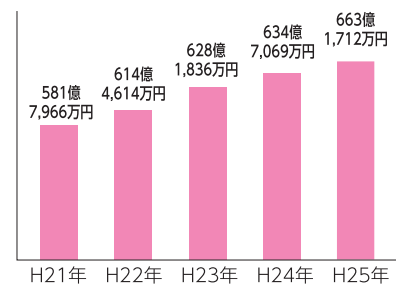
区分	1日当たり平均運用額	運用収入	運用日数
歳計現金* など	31億 9,342万円	219万円	319日
基金	129億 2,439万円	2,499万円	1年間

※市の歳入歳出に属する現金のこと

## ◎市債(借金)の残高 (普通会計、平成26年5月31日現在)

項目	残高
公共事業等(道路、港湾等の整備)	12億1,657万円
公営住宅建設事業	8億5,945万円
教育・福祉施設等整備事業(学校施設整備・社会福祉施設整備)	27億5,760万円
一般単独事業(道路、建物等の整備)	255億4,516万円
うち合併特例事業(市町村合併特例事業分)	166億6,060万円
過疎対策事業(過疎計画に基づく施設整備)	32億3,557万円
県振興資金(各種施設整備のため県からの借入金)	4億 706万円
その他	322億9,571万円
<b>合計</b>	<b>663億1,712万円</b>

## 市債残高の推移



## ◎財政指標の状況

	酒田市 25年度	酒田市 24年度	酒田市 23年度	県内13市 平均	類似団体 平均	本市の数値は
一人当たり市債残高	61万円	57万7千円	56万7千円	47万9千円	36万1千円	県内・類似団体比較では多く、合併特例期間が終わるまでは高水準で推移
経常収支比率	91.1%	91.8%	91.3%	90.1%	89.8%	前年度より改善、県内・類似団体比較では少し高い
財政力指数	0.449	0.448	0.460	0.457	0.744	低下傾向にあり、県内・類似団体比較では低い
実質公債費比率	10.3	10.3	11.0	12.2	7.7	県内比較では良好だが、類似団体比較では高い

- 【類似団体】 人口規模と産業構造の組み合わせが似通った都市。本市を含む、花巻市、土浦市など全国の88都市。  
 【経常収支比率】 経常的歳出(人件費、扶助費、公債費などの毎年必ず支払う経費)に対する経常的歳入(市税、譲与税、普通交付税などの毎年常に入ってくる財源)の割合。比率が低い方が自由に使えるお金が多いことになる。  
 【財政力指数】 標準的な行政活動を行う場合の支出に対し、市税などの標準的な収入でどれだけ賄うことができるかを表す。1を超えるか、1に近いほど余裕があることを示す。1を超える場合には、地方交付税が交付されないことがある。  
 【実質公債費比率】 公債費による財政負担の程度を示す指標。公債費の額を標準財政規模の金額で除して算出する。18%以上の団体は、地方債の発行の際、県の許可が必要となり、25%以上の団体は、一般事業などの起債に制限がかかる。

歳入総額は563億5千719万円となり、前年度に対し55億4千764万円の増となりました。市税が0.3%の増、また国の経済対策に伴う繰越事業および交付金の創設などにより国庫支出金が48.0%の増、新庁舎整備や市土地開発公社の解散に伴う市債の発行額の増などにより市債が42.4%の増となりました。

### 歳入の状況

歳入総額は552億2千171万円となり、前年度に対し62億6千732万円の増となりました。義務的経費のうち、定員適正化計画に基づく職員数の減や職員給与削減などにより人件費は減となりましたが、合併特例事業債などの元金償還金の増による公債費の増や、障がい者福祉サービス給付、子育て支援・ひとり親家庭等医療給付などの扶助費の増により、全体では1.1%の増となりました。

### 歳出の状況

投資的経費については、新庁舎本体工事の着工や亀ヶ崎小学校の改築、大規模企業立地のための用地取得などにより85.2%の増となりました。

(12ページへ続く)

## ◎平成25年度特別会計決算

会計名	歳入	歳出	収支
交通災害共済事業特別会計	3,165万円	2,707万円	458万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	119億7,530万円	119億4,498万円	3,032万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	7,748万円	7,436万円	312万円
後期高齢者医療事業特別会計	11億4,984万円	11億4,320万円	664万円
介護保険特別会計	114億2,745万円	111億6,789万円	2億5,956万円
診療所事業特別会計	8,405万円	8,000万円	405万円
公共下水道事業特別会計	49億3,015万円	48億8,615万円	4,400万円
農業集落排水事業特別会計	12億6,763万円	12億6,603万円	160万円
合併処理浄化槽事業特別会計	1億 556万円	1億 556万円	—
駐車場事業特別会計	2,745万円	2,352万円	393万円
定期航路事業特別会計	2億8,456万円	2億8,456万円	0万円 <sup>※</sup>

※金額は千の位で調整したものを掲載しています。

## ◎平成25年度水道事業会計決算

### ○貸借対照表(平成26年3月31日)

資 産	266億2,609万円	負債・資本	266億2,609万円
固定資産	224億1,093万円	固定負債	18億9,665万円
流動資産	42億1,516万円	流動負債	3億6,903万円
		資 本	243億6,041万円

### ○損益計算書(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

総収益	29億9,347万円	営業費用	25億8,547万円
営業収益	28億 478万円	営業外費用	2億1,198万円
営業外収益	1億8,869万円	特別損失	409万円
総費用	28億 154万円	純利益	1億9,193万円

## ◎平成25年度病院事業会計決算

### ○貸借対照表(平成26年3月31日)

資 産	18億8,244万円	負債・資本	18億8,244万円
固定資産	9億5,694万円	固定負債	128万円
流動資産	9億2,550万円	流動負債	8,994万円
		資 本	17億9,122万円

### ○損益計算書(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

総収益	7億1,344万円	総費用	7億 380万円
医業収益	5億8,046万円	医業費用	6億8,445万円
医業外収益	1億3,249万円	医業外費用	1,767万円
特別利益	49万円	特別損失	168万円
		純利益	964万円

### 財政指標の状況

市の借金である市債残高は、前年度に対し4.5割の増となりました。この結果、一人当たりの市債残高も増となりましたが、市債の返済額(公債費)を財政規模に対する割合で表した実質公債費比率は前年度と同じとなっています。このことは、市債残高は増えているものの、合併したことにより活用できる有利な市債の効果により、実質的な市民負担は増えていないことを表しています。

しかし財政力指数や経常収支比率からは、市の財政力の低下や財政の硬直化の傾向が伺えるため、今後も行財政改革に取り組み健全な財政運営を進めていきます。

### 平成25年度特別会計・企業会計決算

特別会計とは、特定の事業を行うために、一般会計と区別して個別に経理している会計です。本市が設けている特別会計の決算は上表の通りです。

この他、本市には水道、病院の2つの地方公営企業の企業会計があります。本市の企業会計の決算は上表の通りです。

◎平成26年度一般会計・特別会計予算執行状況 (平成26年9月30日現在)

会計名	予算現額	支出済額	執行率
一般会計	526億2,642万円	202億1,616万円	38.4%
交通災害共済事業特別会計	2,981万円	998万円	33.5%
国民健康保険特別会計(事業勘定)	122億9,244万円	51億2,169万円	41.7%
国民健康保険特別会計(施設勘定)	9,025万円	3,225万円	35.7%
後期高齢者医療事業特別会計	12億4,283万円	3億8,256万円	30.8%
介護保険特別会計	122億2,031万円	48億4,256万円	39.6%
診療所事業特別会計	9,794万円	4,673万円	47.7%
公共下水道事業特別会計	53億2,375万円	19億4,719万円	36.6%
農業集落排水事業特別会計	11億2,022万円	3億9,231万円	35.0%
合併処理浄化槽事業特別会計	1億2,959万円	3,038万円	23.4%
駐車場事業特別会計	2,518万円	532万円	21.1%
定期航路事業特別会計	4億8,900万円	1億3,925万円	28.5%

◎平成26年度水道事業会計上半期予算執行状況

	予算額	執行済額	執行率
水道事業収益	29億6,909万円	15億3,372万円	51.7%
水道事業費用	28億6,253万円	11億6,021万円	40.5%
資本的収入	2億7,735万円	857万円	3.1%
資本的支出	16億 663万円	4億2,728万円	26.6%

安全な水を安定的にお届けするために、さまざまな事業を行っています。今後もより一層の業務改善を図り、健全経営の持続に努めます。

**【水道施設の更新】**今年度は約5キロメートルの水道管を更新する予定です。また酒田地区中心市街地の老朽管更新工事(平成29年度まで)のほか、八幡簡易水道区域では簡易水道等施設整備事業(平成27年度まで)を行っています。

**【水道モニター制度】**水道事業の研修、浄水場などの施設見学、水道事業に関するアンケート調査など、今年度は11名の方々から協力をいただいています(毎年6月公募)。

**【水道ホームページ <http://www.water.sakata.yamagata.jp/>】**水道料金や諸手続きのほか、水道に関する情報を掲載しています。酒田市水道お客さまセンターのFacebookも開設し、濁水や断水の情報をいち早くお知らせするよう努めています。

◎平成26年度病院事業会計上半期執行状況

	予算額	執行済額	執行率
病院事業収益	7億2,070万円	3億3,987万円	47.2%
病院事業費用	7億8,256万円	3億3,240万円	42.5%
資本的収入	1億1,198万円	3,978万円	35.5%
資本的支出	1億4,042万円	3,902万円	27.8%

前年度同期に比べ収益は1,111万円の減、費用は2,360万円の増となっています。

今後も当院の特徴とする在宅医療や訪問看護、中山間地診療の充実を図るとともに、良質な医療の提供と経営の健全化に努めていきます。

**【地域医療の充実など】**

八幡病院では、高齢者や慢性疾患、在宅患者さんが多い中高齢化社会に対応した安心して生活できる地域として、医療、保健、福祉との連携を図りながら、地域の実情を踏まえた、地域医療の充実に努めています。

**【医療機器などの整備】**

今年度、更新導入を予定している主な医療機器は、人工呼吸器、超音波治療器、解析機能付心電計、干渉電流型低周波治療器、近赤外線治療器などで、新しい機器に整備してより充実した医療の提供を行っています。

平成26年度の一般会計予算現額は526億2,642万円です。上半期の支出済額は202億1,616万円、執行率は38.4%となっています。

**●平成26年度予算の重点項目**

- ① 未来の明るい酒田に向けた人口減少・少子化対策
- ② 大いなる飛躍に向けた社会基盤整備
- ③ 賑わいと活力、雇用を生み出す産業の振興
- ④ 市民の元気があふれるまちづくり
- ⑤ 安心が実感できる生活基盤整備
- ⑥ 持続可能な地域基盤の強化

子ども医療費の無料化拡大やピロリ菌検査によるがん予防、国の消費税増税対策としての給付金事業の実施など、市民生活に直結する事業に重点的に予算を配分しています。また人口減少・少子高齢化という最重要課題への取り組みとして、結婚支援の充実や就職機会の拡大、産業の振興に資する施策を積極的に展開するとともに、新行財政集中改革プランの計画的な推進などにより、引き続き健全な財政運営を行ってまいります。

平成26年度一般会計・特別会計上半期予算の執行状況  
(9月30日現在、前年度繰越金を含む)